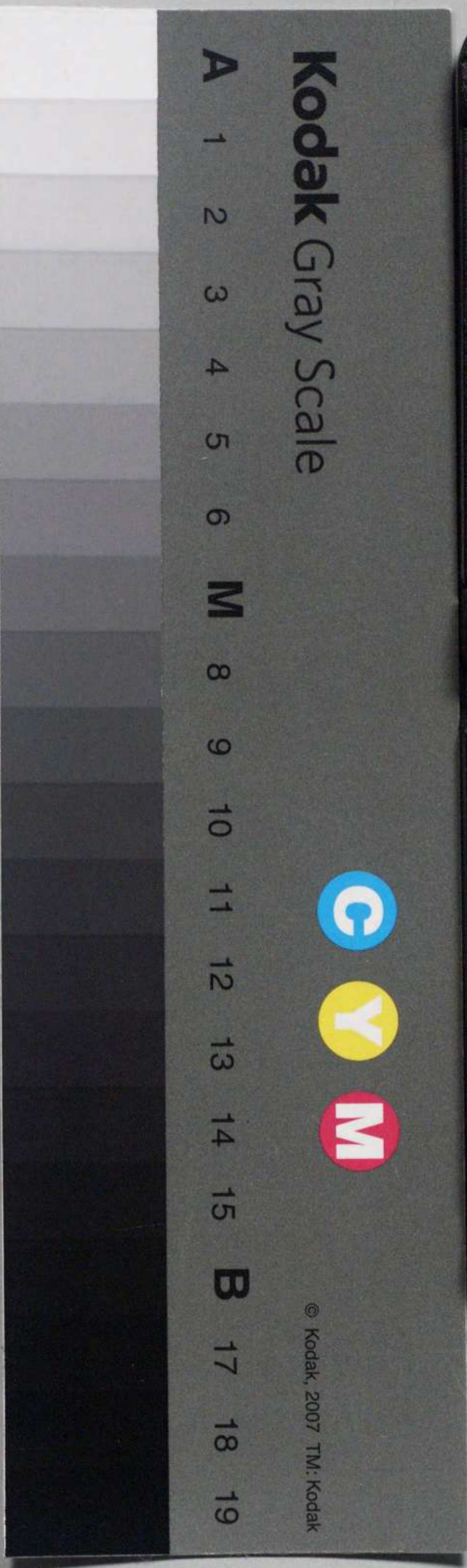


寛永諸家譜

平氏十九冊之内  
総括并目録

63

内閣文庫	
番號	和 20199
冊數	186( 63 )
函號	76 1





寛永諸家系圖傳

平氏へいし 搦な 拵じゆ

會かい 平へい 代だい  
桓けん 武ぶ 天てん 皇わう

葛原親王かつらぎのちんぎう

一いち 只ただ 武ぶ 部ぶ 卿けい

高たか 身み 王わう

皇わう 官くわん 世せい 位い

淺草文庫

高棟王 たかたけのきみ

柘植の祖 つげのそ

高曾王 たかそげのきみ

上総介 かごのすけ 辰五郎下 たつごろうげ 平姓を譲ふ へいせいをじやうぶ

良清 りやうせい

法守府將軍 はふしゆのしやうぐん のら酒香とあはせ

良将 りやうしやう

法守府將軍 はふしゆのしやうぐん

将門 しやうもん

相馬乃祖 さうまのそ

良兼 りやうけん

上総介 かごのすけ

良録 りやうろく

法守府將軍 はふしゆのしやうぐん

良文

法守府將軍

村長五郎

之浦

真平

遠坂等の祖

良持

貞盛

法守府將軍

法回位下

繁盛

法五位上

岩城

城

玉虫

小栗等の祖

乃祖

維衛

上總介

維将

肥前守

小糸

高力

長時

平野等の祖

の祖

正度 ただつ

越前守 えちぜんのかみ

辰巳位下

正備 ただつ

出羽守 でほののかみ

季備 あきつ

下総守 しもづののかみ

正五位上

伊勢乃禮 いせのれい

貞備 まことつ

左衛門尉 さゑもんゑい

板原乃禮 いたはらのれい

正盛 ただかつ

右衛門尉 えもんゑい

辰巳位

忠盛 ただかつ

刑部卿 けいぶのうぢ

正五位下

清盛きよしげ

后一位太政大臣ごゝいちゝたいせいだいじん

重盛しげしげ

小松内大臣こまつのちないじん

基盛もとしげ

后二位下ごゝにげげ

宗盛むねしげ

内大臣 右大臣うちだいじん みぎだいじん

知盛ちしげ

中納言 宗乃能ちゆうなごん むねのちか

重衡しげしげ

右大臣 中將みぎだいじん ちゆうしやう

永度

之河守 辰五郎下

維盛

左中將 國の親

資盛

大中将

親真

織田乃親

盛綱

長崎乃親



寛永諸家系圖傳

平氏ひら摠目録しゅうもくろく 摠計しゅうけい十九冊

清盛流よしみつりゅう

一

織田おりだ

鴻こう

中川なかつかわ

津田ついで

藤掛ふじかき

梶川かぢがわ

清盛流

二

宗

園

長崎

小糸流

一

小糸

小糸流

二

高力

墨野

平野

般系盛流

岩城

塚玉

小糸

良文流

三浦

正木

佐原

中根 庄田 板橋 長井 長尾 高山 三田 酒井

良文流

二

奥平 土屋

良文流

三

相馬

朝比奈

柴村

森多見

良文流

四

良文流

五

遠藤

松浦

佐久間

秩父

良文流

小幡

伊勢流

伊勢

六

萩原

高棟流

松極

支流

一

徳家乃誠より世々あるの儀本平氏

の後裔と稱せといふもその先徳

乃公をわかれその系嗣を傳へて

より世々考わられを友本の

系流なりと云ふは旧記より明んぶる

山可 岩下 奥山 戸澤 支流 松岡 三徳 神田 家塚

二

鳥居 梶 合田 高井 松田

りな成その実原をつまびら  
うまざらるるの志をくく家説  
きこひみれを乃きく支流と号す

坂部 支流  
川口 編 佐治 之井 上原 原 飯塚

巳

南條 久 雲我 支流  
大 森山 中村 長田 山口

之

平氏搃目録終

飯河

河内 野色 山中 夫時 安西 支流 矢楊 坂井 原田

五

